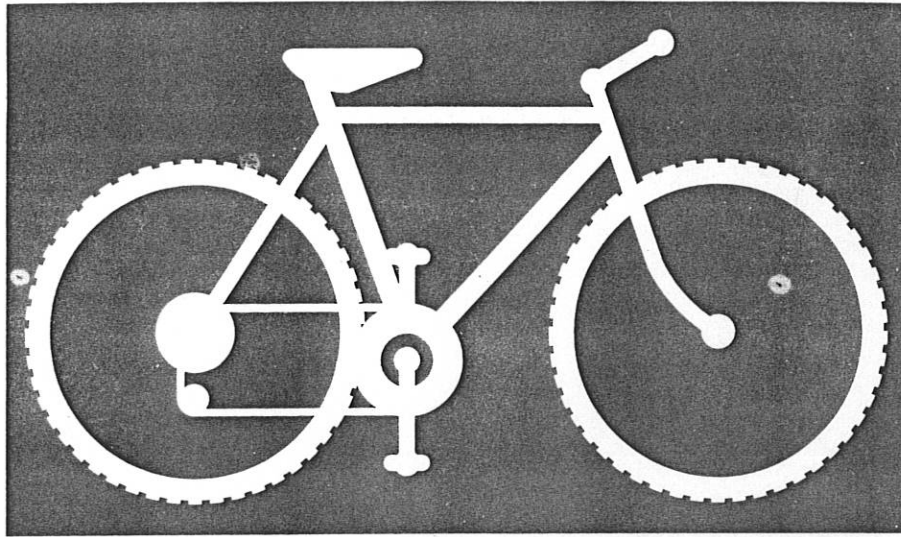


ご愛乗自転車手帳

点検・整備チェックリスト付



取扱い説明書

ご使用前に必ず本書をお読みになってから大切に保管してください

防犯登録について

平成6年6月20日より自転車基本法（略称）が改正され、防犯登録が自転車利用者の義務となりました。防犯登録をご希望の方は、お近くの「防犯登録所（自転車販売店）」にて手続きが出来ます。

■防犯登録を受ける際、必要になる物

(1) お買い求め頂いた自転車

(2) 販売証明書

(下記の書類に必要事項をご記入いただき、ご持参下さい。)

(3) お客様の身分証明になる物

(運転免許証・健康保険証・学生証等)

※防犯登録を受ける際は登録料が必要となります。

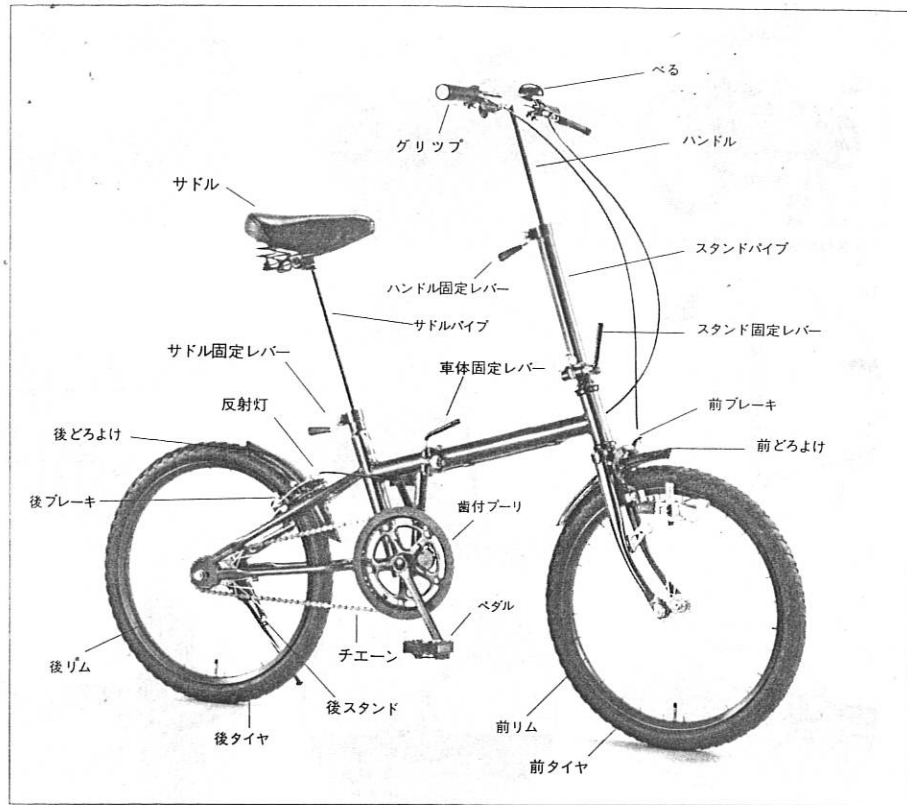
(お客様のご負担となります。)

その他、防犯登録についてご不明の点がございましたら最寄りの各都道府県の防犯登録協会（自転車商協同組合）におたずね下さい。

販売証明書

お買上げ年月日	平成 年 月 日
お 客 様	<p><当商品はBH所有品です></p> <p>BH リンタリース仙台 イベントプロデュース マノスポーツ 仙台市若林区六丁目南町8の5 仙台商管 022(288)0505</p>
販 売 者	<p>会社名 東栄産業株式会社</p> <p>所在地 東京都荒川区西日暮里 1丁目61番18号</p> <p>TEL(03)3803-6441(代) FAX(03)3803-6448</p>

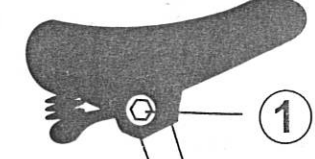
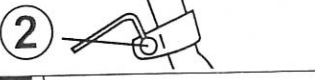
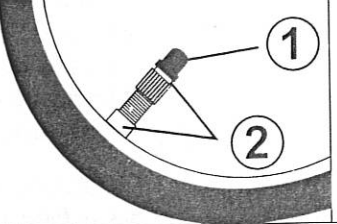
各部の名称



- | | | | |
|--------------|--------------|------------|-----------|
| 1) べる | 7) 前ブレーキ | 13) サドルパイプ | 19) 後スタンド |
| 2) ハンドル | 8) 前どろよけ | 14) サドル | 20) 後タイヤ |
| 3) グリップ | 9) 前リム | 15) 反射灯 | 21) 後リム |
| 4) ハンドル固定レバー | 10) 前タイヤ | 16) 歯付プーリ | 22) 後ブレーキ |
| 5) スタンドパイプ | 11) 車体固定レバー | 17) チェーン | 23) 後どろよけ |
| 6) スタンド固定レバー | 12) サドル固定レバー | 18) ペダル | |

故障かな?と思ったら

本製品を組み立てる際やご使用された後に何か不都合をお感じになりましたら、修理を依頼する前に本表で症状を確認して下さい。なお、これらの処置をしても症状が回復しない、または本表に記載されていない場合は専門店へご相談下さい。

	こんな時は	ここをご確認下さい	処置
サドル	サドルが傾いている		サドルの角度を調整して ①のネジを締めて下さい
	サドルが曲がっている		サドルの向きを調整して ②のネジを締めて下さい
タイヤ	空気が抜けている、空気がすぐ抜けてしまう		まず、空気を入れ直して見て下さい ①エアキャップが締まっているかどうか確認して下さい ②上下2カ所のバルブのネジがゆるんでいないか確認して下さい

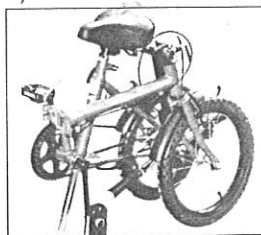


警告

サドル固定レバー、車体固定レバー、ハンドル固定レバーの各箇所の固定がしっかりなされているかどうか自転車にお乗りになる前に必ず確認して下さい。しっかり固定されていないままのご使用は、事故やケガにつながる可能性がありますのでくれぐれもご注意下さい。

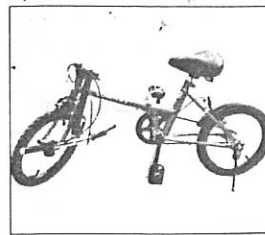
組立の手順

1)



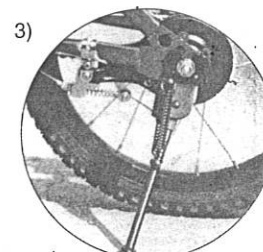
(一) 包装箱から取り出して地上におきま
す。図①

2)



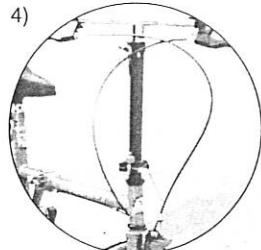
(二) 両手で車輪が一直線になるまで、開
いて下さい。図②

3)



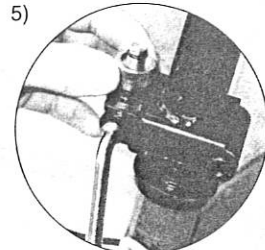
(三) 後スタンドを前の方向に足で押して
、車体を立たせます。図③

4)



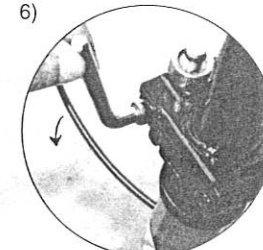
(四) ハンドルパイプを一直線になるよう
にセットします。図④

5)



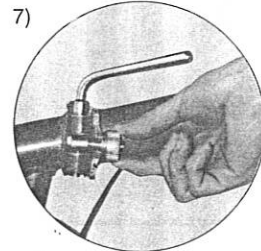
(五) スタンド固定レバーのネジをまわ
して締めつけます。図⑤

6)



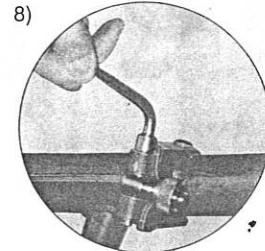
(六) 固定レバーを左の方向に強く押し
ます。図⑥

7)



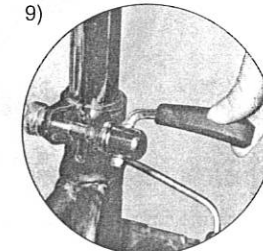
(七) 車体固定レバーのネジをまわして締
めつけます。図⑦

8)



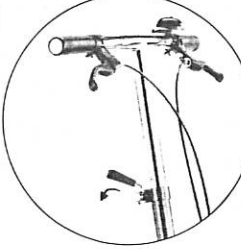
(八) 固定レバーを左の方向に強く押し
ます。図⑧

9)



(九) サドルパイプをこ自分の体に合った
高さに合わせ、固定レバーを前の方
向に押すと固定します。図⑨

10)



(十) ハンドルをこ自分が必要とする高さ
に合わせ、車頭を車体と90°になるよ
うにまわします。そして、固定レバ
を左の方向にしっかり固定するよう
に押して下さい。図⑩

11)



(出) 完成。図⑪

安全上の注意/使用上のご注意事項

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」「禁止」「強制」の4つに区分しています。いずれも、安全上に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

禁止 強制

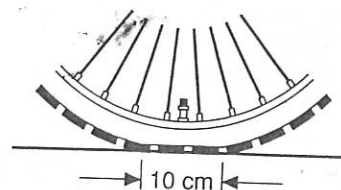
- 二人乗りは危険ですので絶対にやめましょう。転倒や落車によるケガのおそれがあります。
- スポークの間にボール等の固形物を入れないでください。フレームやブレーキなどに接触して転倒するおそれがあります。
- 路面が滑りやすい所での運転は危険ですのでやめましょう。雨天時、積雪時、凍結時、工事現場の鉄板、ぬかるみなどはスリップしてケガをするおそれがあります。
- 積載条件から外れる荷物を積んでの運転はやめましょう。バランスを崩し、転倒によるケガのおそれがあります。
- 片手、手離し運転はやめましょう。傘をさしたの運転は危険です。バランスがとりにくく転倒によるケガのおそれがあります。
- お酒を飲んだ時には絶対に乗らないでください。衝突などによるケガ・死亡のおそれがあります。
- 夜間や視界の悪い時は、無灯火で乗らないでください。夜間および霧などで見通しが悪い時には必ずライトを点灯させてください。
- 異常がある時は乗らないでください。ハンドルやフレームなどにヒビや破損がある場合は乗らないで専門店にご相談ください。
- 車体は常にきれいにしておいて下さい。特に折り曲げ部分や、各固定レバー等は錆び付いたりしやすいので常時ご注意下さい。
- ご使用になられる際は必ず交通規則をお守り下さい。

警告 注意

- サドルやハンドルは引上げ限界線が見える状態で乗らないでください。サドルやハンドルの破損で転倒しケガをするおそれがあります。
- 滑りやすい靴やカカトの高い靴などで乗りますと危険です。足がペダルから外れ、転倒しケガをするおそれがあります。
- 乗る時は、巻き込まれやすい服装や荷物には注意してください。長めのシャツ、ズボンやスカートの裾などが巻き込まれて転倒しケガをするおそれがあります。
- 段差や凹凸の激しい所での走行は危険です。歩道の段差や溝のある所では降りて押ししてください。
- 自転車は走行以外には使用しないでください。踏み台代わりなどに使用すると転倒しケガをするおそれがあります。
- 手やハンドルに荷物を下げたり、犬を引くのはやめましょう。荷物やヒモが車輪に巻き込まれたりバランスを崩して転倒しケガをするおそれがあります。
- ブレーキの効きに関連する部品には油をさしたり油布で拭ったりしないでください。(ブレーキドラム、ブレーキシュー、リム等)ブレーキが効かず衝突や転倒によるケガのおそれがあります。
- 自転車を改造しないでください。部品の破損、外れで転倒によるケガのおそれがあります。修理やパーツの取付けは専門店にご相談ください。

◎タイヤの標準空気圧

自転車に乗った時、接地部分の長さが右図のように約10cm程度がよく、3.0kgf/cm²というのが標準空気圧です。(空気圧が少ないとタイヤを痛めたり、リムの変形が生じたりします。乗車する時はいつも空気圧を点検するようにしましょう。)



◎ブレーキのかけかた

- ブレーキは必ず前後ともかけてください。後ブレーキ、前ブレーキの順にかけ、後ブレーキを主力にします。前ブレーキを先にかけると重心が前にいき転倒することがあります。
- 急ブレーキをかけると転倒するおそれがあります。急ブレーキはできるだけ避けましょう。
- 雨でぬれた道路、下り坂では常に手をブレーキレバーにかけて走行してください。また、下り坂の手前では必ずブレーキテストをしましょう。

◎ブレーキワイヤーの取扱いについて

- ブレーキワイヤーは常に点検し、ゆるんでいないか、その他異常はないかを確認し、サビないように注油してください。(注油の際ブレーキゴムの摩擦面やブレーキプレートの内部には絶対に注油しないでください。ブレーキの効き目がなくなって危険です。)
- また、ワイヤーの外れ、切れが見られた時は、必ず専門店でご交換してください。なおブレーキワイヤーは1年に1回を目安に専門店でご交換してください。

◎自転車のサイズと身長との関係

車種	サイズ	適正身長
ミニサイクル (折りたたみ自転車)	16型	130cm以上
	20型	130cm以上
	24型	140cm以上

自分の体格に合った自転車を選んでお乗りください。上記の適正身長の欄は必ず見てください。

◎駐輪における注意

- 倒れないよう平坦な場所を選び、人や自動車の迷惑にならない所に駐輪をしてください。
- 駐輪禁止の場所には止めないでください。
- スタンドはロックし、施設しておいてください。

◎夜間走行における注意

- 夜間は前照灯のない自転車は使用しないでください。(前照灯のない自転車の場合、お客様ご自身で別途装着し、ご走行下さい。)
- ライトの照射角度は自転車の前方約10メートル先の路面を照らすようにランプの取付けを調整してください。
- 走行中の自転車を確認しやすくするために後部反射器(リフレクター)が汚れた場合は拭き、破損の場合は取り替えてください。

◎標準常用速度

車種	サイズ	常用速度
ミニサイクル (折りたたみ自転車)	16型	8 km/h
	20型	
	24型	

自分の自転車に見合った常用速度でお乗りください。速度の出しすぎは危険です。

(上の表は一般用自転車規格の参考表です)

安全のため、必ずお読み下さい。



点検箇所 (各部位)	点検のポイント (確認項目)	●家庭でできる調整 ★専門店で修理(部品交換含)
フレーム	転倒や衝突のあと、変形や亀裂などがないか	★前ホークの曲がり ★フレームの狂い ★しわやヒビ割れ
ハンドル	正常な位置にあるか、軽く動くか	★重くてよく回らない ★乗るとハンドルが片方へとられる ●上下の調節・正しい位置に直す
ブレーキ	レバーは円滑に動くか バーとの間隔は適正か ワイヤーにサビやホツレはないか 前後とも効き具合は良いか ガタつきはないか シューは摩耗していないか	●★ワイヤー・シューの交換 ●★ブレーキの調整 ★バンドブレーキの効きが悪い
サドル	しっかり固定されているか	●サドルの固定
反射器	反射器は正しい位置か	●反射器を正しい位置にする
ギヤクランク ペダル	振れや曲がりはないか ガタつきはないか よく回るか	●クランクピンのゆるみ ★ペダルやクランクが曲がっている、ガタつきがある
タイヤ	空気圧は適正か タイヤはすり減っていないか	★摩耗や亀裂等があれば交換 ●正しい空気圧
車輪	横振れ、スポークのゆるみ、車軸部にガタつきはないか	★横振れがひどい ★ハブにガタつきがある ★よく回らない
チェーン	ゆるみ過ぎていないか、油はついていないか	●★ゆるみを調整する
各部ネジ・錠前	自転車を持ち上げて軽く地上に落とした時、ネジのゆるんでいる箇所で見 ガタガタ音がしないか	●★錠前の固定、ガタつきの早期発見(ドロよけ止めネジ、錠前等)

ご使用になる前にこの説明書を十分にお読みになって、自転車の正しいお取扱いや日常の点検、整備について、ご理解くださるようお願い申し上げます。

なお、お子さまには安全な乗り方について、お父さん、お母さんから十分説明をしてあげてください。

この自転車の取扱い、点検、その他不明な点、また故障修理などで部品を交換される場合は、必ず自転車専門店にご相談ください。

この説明書は大切に保管し、点検時には別表のチェックリストをご活用願います。

■走り出す前にもう一度各部の確認を自転車に乗る前に、もう一度各部をチェックしていただくことが大切です。

■正しい乗車姿勢で使用しましょう乗車したとき両足のつま先が地面にとどかないもの、ハンドルが胸より高いものは適切ではありません。

次の要領で調整してください。

○サドルとハンドルの高さ調整は、サドル支柱とハンドル支柱のはめ合せ限界標識内で調整します。★限界標識線が見えるところまで持ち上げて調整すると危険です。限界標識線が見えない位置で調整してください。

- サドル、ハンドルの高さは適正ですか。
 - ブレーキは前後ともよく効きますか。
 - タイヤの空気圧は適正ですか。
 - ハンドルの固定は確実ですか。
 - 前後車輪の固定は確実ですか。
 - ネジ、ナットはゆるんでいませんか。
- 等々

点検箇所に関しては、次頁に点検と調整のチェックリストがありますので、それを参考にしながらチェックしてください。安全のために異常を見つけた場合は必ず専門店にて点検、調整を受けるようにしてください。



○お買い上げの自転車は、工場での厳重な検査のうえ出荷されますが、購入後1~2ヶ月目ぐらいはネジ類のゆるみが生じる場合がありますので、専門店にて初期の点検、調整をしてください。その後毎年1回の定期点検、調整、または異常時にはそのつど点検、調整を行ってください。

お買い上げの自転車は、自分なりに改造することは危険です。万一事故があっても保証の対象にならないことがありますので、絶対に行わないでください。

BRIKETM

OWNER'S MANUAL